

千葉県 地域連携のススメ

(地域学校協働活動ボランティアだより)



第29号 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」研修講座「幼稚園での学校運営協議会」
令和6年11月8日 発行：千葉県「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動」推進委員会

予測困難なこれからの社会においては、学校・家庭・地域が連携・協働し、社会全体で学校や子供たちの成長を支えることが重要です。

そのため千葉県では、学校・家庭・地域が連携・協働して、自立的・協働的に子供を取り巻く課題を解決できる地域社会の実現を目指し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進しています。

今回は、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」及び「社会に開かれた教育課程」の説明、「地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）研修講座」（1期：3回分）の報告、公立幼稚園での学校運営協議会の実践紹介について紹介します。

※コミュニティ・スクールとは、子供を取り巻く課題の解決に向けて、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持つ「当事者」として学校運営に参画する「学校運営協議会」を置く学校です。

※地域学校協働活動とは、教育活動や放課後子供教室などの活動において、地域住民の参画を得て「学校を核とした地域づくり」を目指して、子供たちの多様な学びや体験を支援する活動です。

地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）研修講座＜1期 第1～3回＞

学校と地域を結ぶコーディネーターを育成するため、経験豊富な講師（文部科学省CSマイスター）による講義やグループワーク、現場視察等の実践的な研修を実施するとともに、参加者同士のネットワーク作りの場として、全10回を3期に分けて実施しています。

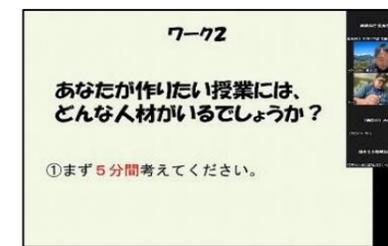
すでに実施した1期（全3回）では計244名と多くの方々に御参加いただきました。

第1回：5月31日



(竹原 和泉 氏の資料より)

第2回：6月20日



(前川 浩一 氏の資料より)

第3回：9月6日



(四柳 千夏子 氏の資料より)

【参加者の声】

- 地域コーディネーター
地域と学校をつなぐ役割として、改めて前向きになれました。
- 地域学校協働活動推進員
子どもたちの自主性を伸ばせるよう、学校との話し合いや人脈を広げる取り組みをしていきたいと思いました。
- 放課後子供教室支援員
講義を聞いた上でのグループワークも取り組みやすく、会話が発展する内容でした。
- 学校教職員
子どもたちの「学び」は時間的にも空間的にも学校の中だけでは終わらないものだと感じました。
- 行政職員
「子どもを主語に」しながら、行政の役割をしっかりと理解して地域連携を推進していきたいです。

御紹介します！幼稚園での学校運営協議会「市川市立塩焼幼稚園」

市川市立塩焼幼稚園学校運営協議会は10名の協議会委員で構成され、年間4回開催しています。第2回学校運営協議会では「保護者アンケートを踏まえた前期評価の協議」「保育参観」「公立幼稚園の現状と課題についての報告及び意見交換」が行われました。



(市内すべての園、学校に掲げられています)



(会長を中心に協議が行われます)

【当幼稚園の協議会委員の構成】

- 対象学校に係る地域住民
・元自治会会長
- 対象学校に係る保護者
・PTA 代表
- 対象学校の運営に資する活動を行う者
・地域学校協働活動推進員
(卒園児保護者、元PTA 代表)
- 学識経験を有する者
・元園長
- 対象学校の校長
- 対象学校の教職員
・教頭

※ 行政職員も参加

※「社会に開かれた教育課程」の3つのポイント

- ①よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有する
- ②これからの社会を作り出していく子供たちに必要な資質・能力を明らかにし、それを学校教育で育成する
→ 資質・能力の3つの柱【学びに向かう力、人間性】【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力】
- ③地域と連携・協働しながら目指すべき学校教育を実現する

(文部科学省HP、小学校・中学校学習指導要領「平成29年3月告示」前文より)



「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動」についてもっと知りたい方
(文部科学省・こども家庭庁合同ホームページ)
<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学びの未来 で検索

【問い合わせ先】 千葉県教育庁 教育振興部 生涯学習課 学校・家庭・地域連携室
TEL:043-223-4069 メール:kyscho2@mz.pref.chiba.lg.jp